JPA 日本光線力学学会 NEWS LETTER

NO.28 APR. 2023

Contents

・大会後記　第 32 回日本光線力学学会学術講演会 … 2 ページ

・新ホームページ　コンテンツのご紹介 … 3 ページ

・今後の学術講演会開催予定・関連学会開催予定 … 4 ページ

・Topix　新委員長の抱負 … 6 ～ 10 ページ

・事務局からのお知らせ … 11 ～ 12 ページ

・編集後記　井上啓史 … 13 ページ

・学会役員　学会開催歴・開催予定 … 14 ～ 16 ページ

大会後記

第 32 回日本光線力学学会学術講演会

大会長　岡本　芳晴
（鳥取大学農学部共同獣医学科獣医外科学）

この度、第 32 回日本光線力学学会を鳥取県米子市で 11 月 25、26 日に開催させていただきました。今回は、第 18 回日本脳神経外科光線力学学会（山本哲哉大会長）との合同で行いました。

今回の大会準備に向けまして、約 1 年前より日本脳神経外科学会光線力学学会大会長である山本先生と協議をしてまいりました。2022 年初めの頃はまだコロナが社会的にも脅威であり、オンデマンド配信にするのか、対面でするのかで議論をしました。最終的に、3 年ぶりの対面で行うことが決定し、準備を進めてまいりました。

当初、100 名の参加者を予定していましたが、大会 2 週間前の段階で約半分の参加者しか登録がなく、再度登録のアナウンスをさせていただき、当日は何とか 100 名の参加者を確保することができました。学会は、特別講演としまして、癌研東病院の土井俊彦先生に「セラノティクスの新たな展開：武装化抗体における光線免疫療法（PIT）」という演題名で講演をいただきました。光線免疫療法の最先端の話を伺うことができ、今後の研究に役立つものと思われました。またシンポジウム 3 題、日本脳神経外科光線力学学会との共同教育講演 3 名、一般演題 13 題でした。いずれの発表におきましても活発な質問があり、会場は盛り上がっておりました。

対面開催ということで、会員の情報交流会を開催させていただきました。伊木米子市長の挨拶から始まり、アトラクションとして安木節、鳥取大医学部ダンス部によるダンス披露と現場を盛り上げていただきました。また、食事も山陰名物を集め、皆様に食していただきました。情報交換会に参加された皆様におかれましては、それぞれのグループで歓談をしていただき、本来の趣旨に沿った交換会が実現できたのではないかと思っております。

2004 年の第 14 回大会以来の鳥取での開催となりました。参加していただいた皆様の心に残る大会を目指して行ってきました。その思いが少しでも参加された皆様に通じれば幸甚であります。最後にご支援、ご協力いただい方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

新ホームページ　コンテンツのご紹介
ニュースレター No.28 発刊にあたって

JPA 日本光線力学学会 NEWS LETTER (2023 年 4 月号 , No.28) をお届け致しましたので、お読みくださいますようお願い申し上げます。

昨年、米子市で開催された第 32 回学術大会が、鳥取大学農学部共同獣医学科獣医外科学の岡本芳晴教授の下、3 年振りに対面で現地開催されたことを大変嬉しく思っています。プログラム内容も充実しており、会場での活発な質疑応答を聞かせて頂き、久しぶりに通常の学術大会が帰ってきたと実感しました。情報交換会では旧交を温めながら、地元伝統文化の素晴らしいアトラクションを鑑賞し、地元の食材を中心にした豪華な食事も大変美味しく堪能させて頂きました。また、鳥取大学医学部カクテル部の医学生が作るカクテルには驚きを持って飲ませていただきました。米子市内のカクテル部のお店には立ち寄ることができず残念でしたが、鳥取には素晴らしいバー文化があると感じました。このような立派な学術大会を開催して頂きました岡本大会長には、衷心より感謝申し上げます。

今回の会期中には、昨年一般社団法人化してから初めてとなる社員総会を開催し、決議事項である定款の変更や理事・評議員の選出を無事に社員 (会員) の皆様からご承認頂きました。本年 1 月 17 日には新理事会を Web 会議で開催し、その場で 3 名の副理事長として武藤 学先生（京都大学医学研究科 医学専攻内科学講座腫瘍薬物治療学）、村垣善浩先生（神戸大学未来医工学研究開発センター）、井上啓史先生（高知大学医学部泌尿器科学講座）、および各委員会の委員長を指名させて頂きました。今回のニュースレターで、各委員長の先生方にご挨拶と抱負のお言葉を頂きましたのでお読み下さい。また、昨年より学会ホームページのリニューアルを進めてきましたが、本年 2 月にやっと公開する事ができましたのでアクセスいただければ幸いです (https://www.jpa-pdt.or.jp)。まだまだコンテンツが充実していませんが、これから先生方にもご協力して頂き各種情報を発信し、会員の皆様方に満足して頂けるホームページにしていきたいと思っています。今までは当学会には学会ロゴがありませんでしたが、ホームページのリニューアルとともに新しくロゴも作成しました。ポルフィリン環をベースに日本のイメージである桜の花弁を赤色レーザー光線でイメージして作成しましたのでご確認下さい。

新年度がスタートし、会員の先生方もご多忙な時期であると思いますが、今後も日本光線力学学会の発展にご支援ご鞭撻を頂ければ幸に存じます。

2023 年 4 月吉日
日本光線力学学会
理事長　古川欣也

今後の学術講演会開催予定

敬称略

◆ 第 33 回　日本光線力学学会学術講演会

大　会　長:片岡　洋望　（名古屋市立大学大学院医学研究科　消化器・代謝内科学）
会　　期：2023 年 11 月 25 日（土）・11 月 26 日（日）
会　　場：京王プラザホテル
・Laser Week IV in Tokyo として、日本レーザー医学会、日本脳神経外科光線力学学会、日本レーザー歯学会の 4 学会共催

◆ 第 34 回日本光線力学学会学術講演会

大　会　長：秋元　治朗（厚生中央病院・東京医科大学　脳神経外科）
会　　期：2024 年 11 月 8 日（金）、11 月 9 日（土）、11 月 10 日（日）
会　　場：京都大学
・Laser Week V in Kyoto として、日本レーザー医学会、日本脳神経外科光線力学学会の 3 学会合同で開催予定

関連学会開催予定

◆ International Photodynamic Association World Congress2023

会　　期：2023 年 7 月 10 日～ 15 日
会　　場：Finland　Tampere
ホームページ：http://ipa2023.com

◆ 第 44 回日本レーザー医学会総会

会　　期：2023 年 11 月 25 日（土）～ 26 日（日）
会　　場：京王プラザホテル
〒 160-8330　東京都新宿区西新宿 2-2-1
会　　長：船坂 陽子（日本医科大学皮膚科学　教授）
テ　ー　マ：レーザー医学・医療の叡智の融合
事　務　局：JTB コミュニケーションデザイン内
〒 105-8335　東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 12 階

◆第 19 回日本脳神経外科光線力学学会

会　　期：2023 年 11 月 25 日（土）～ 26 日（日）
会　　場：京王プラザホテル
〒 160-8330　東京都新宿区西新宿 2-2-1
会　　長：山本淳考（産業医科大学脳神経外科学）
運営事務局：JTB コミュニケーションデザイン内　Tel:080-5908-3459

Laser Week IV
in Tokyo
2023年
11月25日(土)・26日(日)
京王プラザホテル 〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1
レーザー医学・医療の
叡智の融合
第44回
日本レーザー医学会総会
大会長 船坂 陽子
(日本医科大学皮膚科)
第35回
日本レーザー歯学会総会・学術大会
大会長 亀山 敦史
(松本歯科大学歯科保存学講座)
第33回
日本光線力学学会学術講演会
会長 片岡 洋望
(名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学)
第19回
日本脳神経外科光線力学学会
会長 山本 淳考
(産業医科大学 脳神経外科学教室)
【運営事務局】株式会社JTBコミュニケーションデザイン内
〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング12階

Topix　新委員長の抱負

日本光線力学学会規約委員長就任にあたって

規約委員長　　小倉　俊一郎
東京工業大学　生命理工学院　准教授

この度日本光線力学会の規約委員長を拝命しました東京工業大学生命理工学院の小倉と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。規約委員会では学会の規則である規約を取り扱う委員会であり、大変な重責と考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私自身は光線力学における基礎を担当する研究者です。本学会は基礎から応用研究、臨床研究、さらには産学連携を基盤とした研究など大変多岐にわたる研究を後押しする任務があると考えられます。それらの研究者の交流がしやすい規約づくりに励んでまいろうと考えております。そのためには皆様のご協力が不可欠と存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ガイドライン委員長を拝命して

ガイドライン委員長　　白田実男
日本医科大学　大学院医学研究科呼吸器外科学分野
大学院教授

この度、ガイドライン委員長を拝命いたしました。何卒、宜しくお願い申しあげます。

診療ガイドラインは、科学的根拠に基づき、系統的な手法により作成された推奨を含む文章で、Minds (Medical Information Distribution Service) 方式による作成が広がっています。一方、光線力学的治療・診断（PDT・PDD）に関する臨床試験では、エビデンスレベルの高い第 III 相試験の実施が困難な場合が多い領域でもあります。現在までに、海外含め PDT と標準治療や他の治療法との「ガチンコ」の比較試験の実施例は存在しておりません。幸い、我が国では、PDT・PDD に関する臨床試験が複数進んでいます。このような状況下であるため、当学会が果たす役割が極めて重要であります。ガイドライン委員会は、必ずしも Minds 方式とまではいきませんが、学会員の皆様、患者様にとって有益となるような診療指針などを作成していきたいと考えています。また、海外の動向にも注視し、Minds で重要視される各国で実施された臨床研究の成果などを積極的に紹介していきたいと存じます。

日本光線力学学会 編集委員長を拝命して

編集委員長　　井上　啓史
高知大学医学部泌尿器科学講座　教授

このたび、日本光線力学学会 編集委員長を拝命致しました高知大学医学部泌尿器科学講座井上啓史でございます。この編集委員長という大役は、実は 2018 年 11 月 1 日付けにて、獨協医科大学 中村哲也先生の後任として仰せつかっており、すでに 4 年間が過ぎております。その期間の大部分が新型コロナウイルス感染症という閉塞感の中においても、学会員の先生方が PDD および PDT の発展に懸命にご尽力され、ご活躍される様子を少しでも広く熱くお伝えすべく、JPA News Letter にて発信して参りました。

そして、このたび一般社団法人日本光線力学学会が本年1月の新理事会で、古川欣也新理事長の下、新たな体制として再スタートする、その一翼を担わせて頂くことになりました。微力ではございますが、JPA News Letter を介して、PDD や PDT など光線力学技術の“今”を伝え、日本光線力学学会の発展に繋がるように努めていきたいと思います。今後ともにご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

教育と研究開発との一体化による光線力学的療法の発展

教育委員長　　村垣　善浩
神戸大学大学院医学研究科 副研究科長 医療創成工学専攻 教授
神戸大学 未来医工学研究開発センター長

この度一般社団法人日本光線力学学会の教育委員長を拝命致しました神戸大学の村垣でございます。古川欣也理事長そして理事の先生方とともに、教育関係の活動を通じて学会の更なる発展と光線力学的診断治療法（PDD/PDT）の普及拡大を目指して参ります。

具体的には、医師主導治験の適応拡大の際に課され、厚生労働省の承認条件として行われている、トレーニングコースのアップデートです。現在悪性脳腫瘍と局所遺残再発食道がんに対して行われていますが、基礎部分はレーザー医学会、臨床部分は担当学会と協力しながら、積み重ねてきた治療経験や研究結果そして副作用経験を反映させて施行医師の教育と PDT のリスク管理を行います。また、現在治験中の子宮頸部上皮内腫瘍に対する PDT が承認された際のトレーニングコースにも応用可能です。臨床研究や機器開発と教育とを一体化して、理想的なダブルターゲッティングがん治療である PDT の普及に貢献したいと考えています。さらには、日本脳神経外科光線力学学会とのつなぎ役して両学会の教育部門の効率的な連携を目指します。今後、会員諸先生方のご指導ご鞭撻を賜り、職務を全うしていきたいと存じますので 、宜しくお願い申し上げます。

日本光線力学学会倫理委員会委員長就任挨拶

倫理委員長　　坂本　優
佐々木研究所附属杏雲堂病院　院長　レディースセンター長

一般社団法人日本光線力学学会において、2023 年度から新設された倫理委員会の委員長を拝命しました坂本 優と申します。これまで、フォトフリンやレザフィリンを用いた子宮頸がんや前がん病変に対する PDT の開発と臨床応用に 30 年以上携わって参りました。PDT の臨床経験は 1000 例以上ございます。これらの経験を、本学会の倫理委員会にも生かしていければと思っております。現在、レザフィリンを用いた PDT は、肺がん、食道がん、悪性脳腫瘍で保険適用になっております。ALA を用いた PDD も悪性脳腫瘍、膀胱がんで保険適用になりました。子宮頸部上皮内腫瘍に対するレザフィリンを用いた PDT の適応拡大を目指しております。国内外において、新たな光感受性薬剤や新しい手法を用いた PDD や PDT に関する基礎研究や臨床研究も盛んに行われています。特に、臨床研究を行う前に、十分な倫理的な検討が必要になりますので、本委員会が設置されることになりました。本委員会における倫理的な検討が、本邦における PDD や PDT の新たな開発や臨床応用、さらには、適応拡大につながることを期待しております。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

御　挨　拶

安全委員長　　荒井　恒憲
慶應義塾大学理工学部名誉教授

新生日本光線力学学会の古川理事長先生より安全委員長を拝命致しました。光栄に存じます。私は現在 69 才で役務はあと一年間だけですが長年お世話になった学会への恩返しの為にお引き受けした次第です。

光線力学治療は広い意味ではレーザ治療であり、レーザ治療においては私も立ち上げから参画させて頂いたレーザ医学会の安全教育が機能しております。レーザ医学一般論の啓蒙はそちらにお任せするとして、光線力学学会安全委員会は光線力学治療に固有の課題に関する、啓蒙活動、情報収集活動を行って行きたいと思います。私が問題意識を持っておりますのは、PDT の安全性を高め、さらに普及させるために必要な以下の 3 点です。

1) 光線過敏症に対する定量的な対応を開発・普及させ PDT の普及の一助にしたい。
2) 光治療の見積もり計算に関して、利点欠点を含めて医療現場に正確に認識される様にしたい。
3) 各種 PDT 治療分野に対して、カスタマイズされたレーザプローブの開発を先導する為に啓蒙や提言などを行っていきたい。

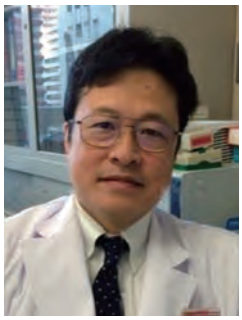
幹事を小川恵美悠先生（北里大学）に御願い申し上げました。会員の皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。

役員選出委員会委員長に就任して

役員選出委員会委員長　　武藤　学
京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座　教授

日本光線力学学会役員選出委員会委員長を拝命した京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座の武藤　学と申します。本委員会は、本学会が理事会および評議員会制度に体制変更したことに伴い、新たに設置された委員会になります。

業務としては、会員等から評議員や理事の推薦があったときに、その方が適任か否かを判定する重要な役目を担います。本学会は、領域横断的な分野ですので、それぞれの専門領域以外の意見も客観的かつ公平に聞き、最適な人材を選出する必要があり、本学会の発展のためには、欠かせない委員会と思っております。不慣れでありますが、皆様からのご支援・ご指導を賜りながらこの責務を全うしたいと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



渉外委員長を拝命して

渉外委員長　　秋元　治朗
東京医科大学脳神経外科 教授
厚生中央病院 副院長・脳神経外科部長

渉外委員長を拝命いたしました。東京医科大学脳神経外科 教授・厚生中央病院 副院長の秋元治朗と申します。本学会には 20 年ほど前から参加させていただいており、悪性脳腫瘍の光線力学的療法の確立において、諸先生から有り余るほどの御指導をいただきました。この度、理事長からのご指名を受け、本学会の発展に微力ではありますが、貢献したいと考えております。

渉外委員会の責任者としての目標は、日本の光線力学医療研究者の国際的なプレゼンスを高めることに尽きると考えます。光線力学的医療の国際学会である International Photodynamic Association (IPA) や、本学会が過去に開催した中国、韓国の研究者との合同シンポジウムにおける日本人研究者の活躍などを拝見するにつけ、日本の基礎的臨床的研究が世界の光線力学的医療の発展を牽引していることを実感して参りました。しかしながら 2019 年に始まったコロナ禍が、これらの国際学会における日本人研究者の活躍に水を刺す形となり、海外諸国の研究者との交流も徐々に希薄なものとなってしまいました。本年 6 月に開催される IPA world congress（Finland, Tampere）でも organizing committee に指名された日本人は1名に過ぎず、またアジア諸国との学会交流も先が見えない状況にあります。

アフター、ウイズコロナの時代となり、日本人研究者が再び国際的に活躍できる様、渉外委員会としてのビジョンを適宜示して行きたいと思います。早速、私の意見に同調していただいた、若手を中心とした研究者の方々に渉外委員会に加入していただきました。アジアのみならず世界の光線力学的医療研究における日本人のプレゼンスを高め、いつか IPA world congress を日本で開催する日が来ることを夢見ております。何卒よろしくお願い申し上げます。

保険委員会委員長就任のご挨拶と抱負

保険委員長　　土田　敬明
国立がん研究センター中央病院内視鏡科呼吸器内視鏡医長

このたび、日本光線力学学会保険委員会の委員長を拝命し、大変光栄であり心より感謝申し上げます。私は、光線力学的診断治療の分野において、保険制度に関わる重要な役割を担う保険委員会の委員長として、会員の皆様に寄り添い、責任を持って業務にあたりたいと考えております。保険委員会の使命は、光線力学的診断治療がより多くの患者さんに利用されることを支援し、また、この分野における保険制度がよりよく機能するよう提案を行うことにあります。

そのために、保険委員会は、新規技術としての光線力学的診断治療の保険収載や保険既収載技術の改定の提案を行うために、日本レーザー医学会を通じて関係機関と協力してまいります。

また、会員の皆様とともに、光線力学的診断治療の分野における研究や技術の発展に取り組み、保険制度に反映されるよう努めてまいります。保険委員会は、保険制度において、光線力学的診断治療が適切に行われるように、会員の皆様と協力して活動を行ってまいります。日本光線力学学会保険委員会の委員長として、会員の皆様とともに、よりよい保険制度の実現を目指していく所存です。

日本光線力学学会財務委員長就任にあたって

財務委員長　　奥仲　哲弥
国際医療福祉大学呼吸器外科教授
山王病院呼吸器センター長

2001年日本光線力学学会発足から会計を担当しております。当時の日本光線力学学会会長、加藤治文先生から学会の銀行口座を作るようにとの指示を受け、学会印もない時代でしたので、日本光線力学学会会計　奥仲哲弥名義で銀行口座を作り、私個人の印鑑で口座を開設した懐かしい記憶があります。。2021年までの会計の内容は収入が会費収入約70万前後、支出が学術講演会開催準備金60万円、ニュースレター等の事務経費が8万円程度でした。学術講演会開催準備金は学術講習会会長の収支決算状況により余剰金が返還されることも多く、学会の会計は比較的健全で、毎年70万円程度の黒字決算で、2021年3月31日で前年度繰越金が約600万でありました。2022年一般社団法人日本光線力学学会の発足にあたり、財務委員会が発足され、今年度の収支予算を第32回光線力学学会総会でご承認いただきました。

一般社団法人への変更に伴う一時的な登記経費等に加え、学会の周知に伴う広告宣伝費に約70万円が支出予定であり、また会計士等への支払い、都民税等、今までになかった経費の発生も生じ、今後赤字会計が予想されます。

支出の圧縮と会費収入の増加、賛助会員からの寄付、学術集会からの余剰金の寄付など収入確保の収支改善策を理事会にご提案してまいりますのが財務委員会の役目と心得ております。会員の先生方のご協力を切にお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

◆社員総会開催　2022 年 11 月 26 日（土）午後１時００分より一般社団法人になって初めての社員総会を開催。第３２回日本光線力学学会会場（鳥取県米子市）にて社員総数１８４名中９８名が参加。主な決議報告事項は次の通り。

☆2022 年度（2022 年 4 月 1 日～2022 年 9 月 30 日まで）事業報告、及び決算報告（会計担当の奥仲哲弥評議員より）

当期は一般正味財産が 86,406 円増加し、正味財産合計が 5,912,868 円、負債及び正味財産合計が 6,661,376 円。

☆令和 5 年度予算

収入予算 2,675,000 円（会費収入 675,000 円 + 寄付 2,000,000 円）。

支出 1,936,000 円、収支 739,000 円を見込む。

☆定款一部変更

・会員種を正会員、学生会員、名誉会員、特別会員、賛助会員の 5 種とする
・理事総数を 25 名以内、評議員総数を 75 名以内
・理事のうち若干名を副理事長に就くことができる
・賛助会員は年間一口 10 万、一口以上の会費納入が義務づけられた

☆会則の一部変更

・70 歳役職定年制の導入（理事、監事、評議員、委員会委員長）
・4 委員会を新設、10 委員会体制に

☆理事監事選任

・24 名理事候補者、2 名監事候補者が正式承認された。

◆臨時理事会開催 2022 年 11 月 26 日（土）社員総会終了後直ちに臨時理事会が開催され、古川欣也理事長が選任された。

◆理事会開催（2023 年 1 月 17 日）

・3 副委員長及び 10 委員会委員長が指名された。
・新ホームページが公開された。
・準備中の新ロゴ案を検討し方向づけられた。
・学術講演会について、
　２０２５年大会長は矢野友規先生（国立がん研究センター 東病院）、
　２０２６年大会長は井上啓史先生（高知大学医学部泌尿器科学講座）に決定した。

◆会員動向（2021.10 ～ 2023. 2）

・正会員 191 名（正会員 186 名、賛助会員 5 名）
・賛助会員 5 社（インテグラル、SBI ファーマ、日本化薬、ミズホ、Meiji Seika ファルマ）
・新規会員 22 名（賛助会員 5 名含む）増加。退会者 10 名。
・会費納入状況　2022 年（2022.4 ～ 2023.2）152 名。22 年度未納者は 26 名。

■ 日本光線力学学会ホームページ (https://www.jpa-pdt.or.jp) に、
対談「がん治療に期待高まる PDT」、以下 6 回を掲載中

第 1 回、「がん治療に期待高まる PDT」（古川欣也×加藤治文）
第 2 回、「肺がんの PDT」（臼田実男×加藤治文）
第 3 回、「食道がんへの PDT」（武藤学×加藤治文）

第 4 回、「脳腫瘍の PDT」（秋元治朗×加藤治文）
第 5 回、「新しいがん治療 iTAP 法」（浜窪隆雄×加藤治文）
第 6 回、「子宮頸部がんの PDT」（坂本優×加藤治文）

■年会費について

2023 年度（2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日）の年会費 5,000 円の納入をお願いいたします。会員には、振込み用紙を同封しております。
速やかなお振込み（2023 年 9 月 30 日まで）をお願い申し上げます。
尚、10,000 円の振込票が同封されている会員は、2022 年度年会費が未納になっております。2023 年度年会費と合わせてお振込みをお願い申し上げます。

年　会　費:　2023 年度　　5,000 円
（会費年度は 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日迄、会計年度は 10 月 1 日より翌年 9 月 30 日迄です）

〇お振込先は下記のいずれかよりお願い申し上げます。

☆【郵便振替】振替用紙を同封
口座番号：00150-9-371545
名　　義：日本光線力学学会

他行から振替口座にお振込みの場合
店　　番：019　〇一九
口座番号：当座預金口座 No. 371545
名　　義：日本光線力学学会

どちらの名義も「一般社団法人」の記載は不要です。

☆【三井住友銀行】
支　　店：浅草橋支店 店番：614
口座番号：普通預金口座 No. 7467418
名　　義：一般社団法人日本光線力学学会

ご不明の点は、下記事務局までお問い合わせ下さい。

一般社団法人 日本光線力学学会事務局
〒 104-0045 東京都中央区築地 1 丁目 12 番 22 号　コンワビル 5F
E-mail：　info@jpa-pdt.or.jp
学会 HP：　https://www.jpa-pdt.or.jp

以上

編集後記

新型コロナウイルス感染症に対して、医療、社会、生活における対応に少しずつ変化が現れてきました。日ごと春らしい陽ざしも感じるこの頃、みなさまお元気でご活躍のことと思います。

2022 年 11 月 25 日 (金)・26 日 (土)、鳥取県米子市 米子コンベンションセンター BIG SHIP におきまして、第 32 回日本光線力学学会学術講演会が開催されました。鳥取大学農学部共同獣医学科獣医外科学 教授 岡本芳晴先生が大会長を務めになり、第 18 回日本脳神経外科光線力学学会（大会長 横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 教授 山本哲哉先生）との合同開催で、国立がん研究センター東病院医療科長 土井俊彦先生による特別講演「セラノスティクスの新たな展開；武装化抗体における光線免疫治療（PIT）」、3 つのシンポジウム、さらには PDT の基礎的研究から未来に向けての話題を取り上げた教育講演などを含め、多くの企画が Web 参加可能な現地開催にて実施され、200 名を超える皆様にご参加頂き、とても盛会となりました。

さて、今回の JPA News Letter では、まず、鳥取大学農学部共同獣医学科獣医外科学教授岡本芳晴先生に、第 32 回日本光線力学学会学術講演会の大会後記をお願いしました。そして、このたび一般社団法人日本光線力学学会が本年 1 月の新理事会で新たな体制として再スタートする、その新しい学会運営の根幹である 10 委員会の新委員長のご挨拶と抱負を特別寄稿としてお届け致しました。

古川欣也新理事長の下、今まさに生まれ変わった日本光線力学学会！学会員みんなで大きく盛り上げていきましょう！

編集委員長　井上　啓史
（高知大学医学部泌尿器科学講座）

日本光線力学学会　役員　（2022 年11月～）

*50 音順、敬称略

名誉会長	故 早田　義博			
	加藤　治文			
名誉副会長	中島　進			
名誉会員	故 奥田　茂	故 久住　治男	故 竹村　健	故 平嶋　登志夫
	故 南　三郎	故 三村　征四郎	故 吉田　知之	會沢　勝夫
	伊関　洋	金子　貞男	小中　千守	斎藤　明義
	阪田　功	林　潤一	平野　達	松村　明
	松本　義也	三木　徳彦	三好　憲雄	室谷　哲弥
	吉田　孝人			
特別会員	小幡　純一	川島　徳道	木村　誠	黒田　寛人
	長崎　正継	仲里　正孝	中島　元夫	渡邊　正俊
理事長	古川　欣也			
副理事長	武藤　学	村垣　善浩	井上　啓史	
理事	秋元　治朗	荒井　恒憲	粟津　邦男	池田　徳彦
	岡崎　茂俊	岡本　芳晴	奥仲　哲弥	小倉　俊一郎
	片岡　洋望	黒岩　敏彦	坂本　優	佐藤　俊一
	中村　哲也	平川　和貴	松井　裕史	守本　祐司
監事	大崎　能伸	西脇　由朗		
会計	奥仲　哲弥			
評議員	赤須　東樹	秋元　治朗	荒井　恒憲	粟津　邦男
	石川　栄一	石原　立	磯本　一	井上　啓史
	今井　健太郎	臼田　実男	浦野　泰照	大崎　能伸
	大城　貴史	大谷　圭志	大平　達夫	岡　潔
	小笠原　浩二	岡本　芳晴	小川　恵美悠	奥仲　哲弥
	小澤　俊幸	小野　祥太郎	小野　裕之	尾花　明
	金山　尚裕	金子　久恵	川内　聡子	北田　正博
	工藤　勇人	黒岩　敏彦	黒﨑　雅道	郷渡　有子
	坂本　優	佐藤　俊一	鈴木　猛司	宗田　孝之
	土田　敬明	中津留　誠	中村　哲也	中村　浩之
	楢原　啓之	西村　隆宏	西脇　由朗	西脇　雅子
	福田　知雄	福原　秀雄	古川　欣也	松井　裕史
	村垣　善浩	森田　明理	守本　祐司	矢野　友規
賛助会員	株式会社インテグラル			
	SBI ファーマ株式会社			
	日本化薬株式会社			
	ミズホ株式会社			
	Meiji Seika ファルマ株式会社			

評議員	池田　徳彦	臼田　実男		
	井上　達哉	大崎　智弘		
	岡崎　茂俊			
	小倉　俊一郎			
	片岡　洋望			
	櫛引　俊宏			
	小林　正美			
	近間　泰一郎			
	七島　篤志			
	平川　和貴			
	武藤　学			
	山本　淳考			

委員会	規約委員会 (旧 会則委員会)・規約委員長	小倉　俊一郎
	ガイドライン委員会・ガイドライン委員長	臼田　実男
	編集委員会・ 編集委員長	井上　啓史
	教育委員会・教育委員長	村垣　善浩
	倫理委員会 (新設)・倫理委員長	坂本　優
	安全委員会・安全委員長	荒井　恒憲
	役員選出委員会 (新設)・役員選出委員長	武藤　学
	渉外委員会・渉外委員長	秋元　治朗
	保険委員会 (新設)・保険委員長	土田　敬明
	財務委員会 (新設)・財務委員長	奥仲　哲弥

日本光線力学学会　開催歴・予定

敬称略

	開催日時	大会長	開催地		開催日時	大会長	開催地
第1回	1991年10月6日	早田 義博 加藤 治文	東京	第18回	2008年6月14-15日	松本 義也	名古屋
第2回	1992年9月5日	中島 進	旭川	第19回	2009年7月4日	荒井 恒憲	横浜
第3回	1993年10月10日	奥田 茂	大阪	第20回	2010年6月12-13日	三好 憲雄	福井
第4回	1994年9月3日	竹村 健	札幌	第21回	2011年7月2-3日	粟津 邦雄	大阪
第5回	1995年11月3日	平嶋登志夫	東京	第22回	2012年7月6-7日	松村 明	茨城
第6回	1996年11月9日	阪田 功	岡山	第23回	2013年6月9-10日	大崎 能伸	旭川
第7回	1997年5月24日	西坂 剛	石川	第24回	2014年6月28-29日	西脇 由朗	浜松
第8回	1998年6月6日	三木 徳彦	大阪	第25回	2015年7月10-11日	古川 欣也	東京
第9回	1999年5月22日	會沢 勝夫	東京	第26回	2016年6月25-26日	坂本 優	横浜
第10回	2000年5月20日	金子 貞男	岩見沢	第27回	2017年7月14-15日	武藤 学	京都
第11回	2001年5月19日	吉田 孝人 平野 達	浜松	第28回	2018年11月1-2日	村垣 善浩	東京
第12回	2002年5月25日	林 潤一	東京	第29回	2019年9月19-20日	佐藤 俊一	東京
第13回	2003年3月22日	室谷 哲弥	東京	第30回	2020年10月9-10日	臼田 実男	高知 WEB
第14回	2004年5月29-30日	南 三郎	鳥取	第31回	2021年10月22-23日	松井 裕史	東京 WEB
第15回	2005年6月11日	尾花 明	浜松	第32回	2022年11月25-26日	岡本 芳晴	米子
第16回	2006年5月13日	奥仲 哲弥	東京	第33回	2023年11月25-26日	片岡 洋望	東京
第17回	2007年6月16-17日	中村 哲也	栃木	第34回	2024年11月8-10日	秋元 治朗	京都